



## 市長モリテツの ほっとトーク

March 2022

# 若者たちとまちづくり

－ 三田を変える新しい力 －

三田市長 森 哲男

5年前から「学びのまち」をまちの新たなブランドにするため、取り組みを始めています。三田市では、豊かな生活環境に加え、優れた教育環境で育った若者の多くが、首都圏をはじめ県外への進学や就職によって、まちを離れていく傾向がありました。こうした若者の転出を防ぎ、若者および子育て世代の転入を増やしていく施策が、まちの活力を持続発展させるために必要でした。

市内には、関西学院大学、湊川短期大学および神戸医療福祉専門学校などの多様な学びができる学校があり、約7千人の学生および教職員が本市に集まっています。高等教育資源が充実し、多くの優れた若者や研究者が集う恵まれた環境を、三田の魅力として活用・発信していくことが「学びのまち」の目指すものです。

さらに2年前から、市内に集まる学生たちがさまざまな活動を通じて三田のまちづくりに関わってほしい、多くの市民を元気づけてほしい、そして学生たちには三田で青春の思い出を創ってほしい、そんな思いで「若者のまちづくり」を市政の新たな柱に掲げました。

現在、学生を中心とする若者たちが、まちづくり活動を広く展開しています。例えば、①若者の政治参加や投票率向上のための啓発活動、②古民家を拠点とする学生による学生の中間支援活動、③農業体験イベントの企画・実施、④市民の福祉向上に役立つアプリの開発など、多くの学生がまちづくりに関わっています。

こうした若者の活動を一過性でなく、まちづくりの一翼を担う持続可能なものとして定着させなければなりません。そのため、市を挙げてチャレンジする若者を応援する風土を創り上げる必要があります。市として若者を支援する施策を充実・強化するとともに、若者が市内の地域活動に参画しやすい環境へと変えていく必要があります。

地域活動を通じて、多くの高齢者と若者が交流できると期待しています。若者の発想やパワーが高齢者に刺激と元気を与えるとともに、高齢者の豊かな人生経験から多くの事を若者は学べるはずです。高齢者も含めた多くの市民と若者の交流が、まちに活気をもたらし、三田のまちが大きく変わっていくことを楽しみにしています。

### Mayor's Photo Diary



1月27日 誰もが働きやすい職場づくりを目指すイクボス宣言事業者等とオンライン座談会を行いました



2月10日 「さんだ生涯学習カレッジ」の卒業・修了式があり、85人に証書を授与しました



2月10日 集団接種（モデルナワクチン）による交互接種で3回目を受けました